

令和4年度の研究のまとめ

研究主題 **質の高い幼児教育の実現に向けて**

～つながる ひろがる 札幌市の幼児教育～（市立幼稚園、認定こども園共通）

研究副主題 **多様な教育、保育環境における幼児期にふさわしい生活のために**（市立かっこう幼稚園と共通）

認定こども園にじいろの教育課題に応じた研究主題

遊びが広がり、思いが伝わり合うための援助と環境構成

今年度は「質の高い幼児教育」の実現に向けて、多様な教育、保育環境の下で園生活を送る子どもたちの「安心感」を探り、遊びの広がりや思いの伝わり合いを意識した保育の実践をしてきました。小グループでの事例検討会の中で、「安心感」を感じながら遊びを深めていく姿に向かうために必要な援助や環境構成について考えてきました。

遊びの
エピソード
より

氷づくりが楽しいね！（3～5歳児を中心とした異年齢交流）

ある寒い日の夕方に数名で始まった氷づくり。水を入れた牛乳パックが翌朝、凍っていることがきっかけとなり、氷づくりに興味をもちました。

夕方の遊びから



異年齢のつながり



- ・成功体験がまた作りたい思いをもつことにつながりました。
- ・凍っているものが気になり、戸外遊びを自分で選び、意欲的に遊ぶ姿がみられました。
- ・パックを開けられない年下の子に対して、年上の子が代わりに開けてあげるなど異年齢での関わりが増えました。

- ・寒い日が続いているため、氷づくりを提案。すぐに使用可能な牛乳パックを用意しました。
- ・次の日、登園してすぐに目の付く場所に保管しました。



クラス活動*5歳児:氷の実験*



- ・楽しかった経験をクラス活動時でも生かす姿がみられました。
- ・雪を混ぜたら早く凍る？お湯を入れたらどうなる？など素材を変え、遊びを発展させていました。

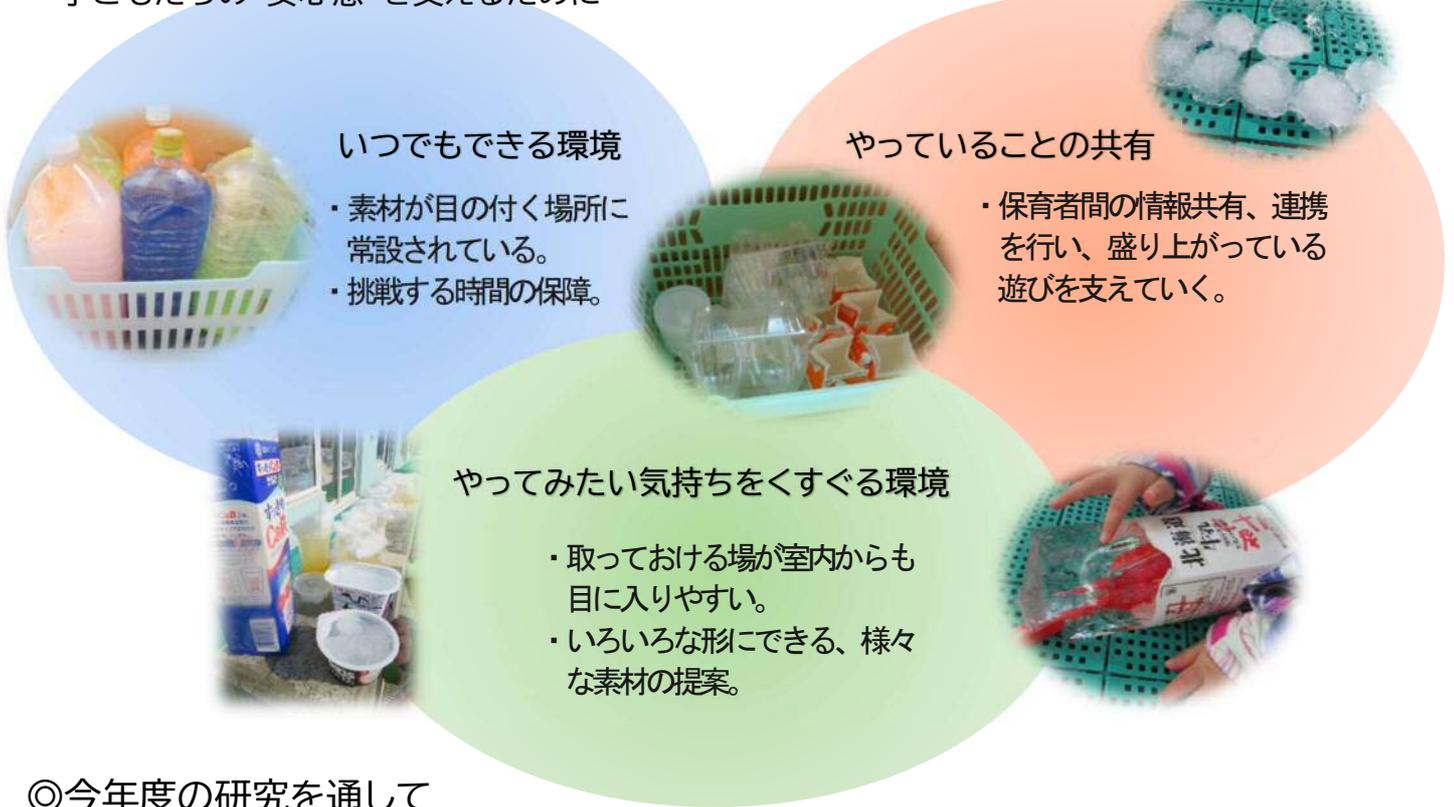


乳児クラス・2歳児クラスとのつながり

- ・できた氷をもらってうれしい、氷に興味をもち、真似をして同じように作ってみたいと思う気持ちがみられ、保育者と一緒に氷という素材に親しむ姿につながりました。



～子どもたちの“安心感”を支えるために



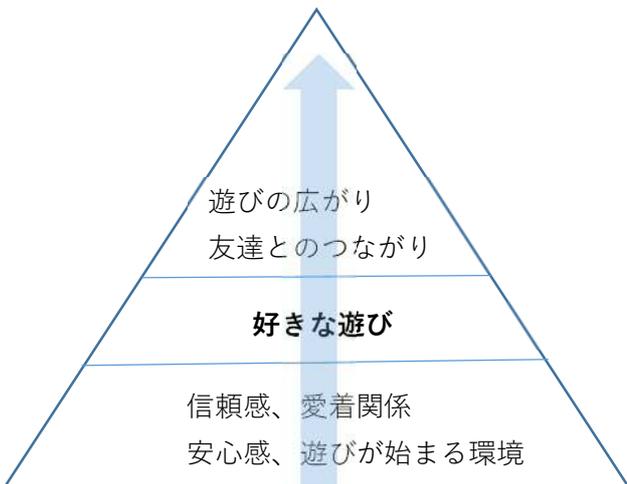
◎今年度の研究を通して



保育者や友達との関係、何度も繰り返しできる保育室の環境や時間の保障など子どもたちにとっての”安心感”に改めて気づきました。

また、“安心感”を意識した保育を行うことで、安心を土台として子どもたちが意欲的に遊んだり、何度も挑戦したりして遊びが広がり、異年齢の友達とつながる姿がみられています。

今後も“安心感”を意識しながら、さらに遊びを深めていけるよう、研究を進めていきます。



次年度（令和5年度）は、かつこう幼稚園（豊平区）と合同で研究をしていきます。

にじいろでは、多様な教育、保育環境の中で“安心感”を感じながら、遊びをさらに深めていくための保育について研究をします。

詳細については、次回のにじいろ研究だよりでお知らせします。